

ギリアデル脳内留置用剤の運用方法

処方連絡を受けた薬剤師



発注する

- 患者名、処方枚数、使用日の情報を処方医より得る
- 「医薬品緊急購入申請書」の提出を依頼する
- 翌日以降にオーダ可能となるため、処方オーダするよう伝える
(処方箋の実施日は手術日ではなく、前もってオーダして頂く)

電話連絡時
医師への伝達
確認事項

- 患者限定緊急購入薬オーダができるよう、DI担当者にマスター修正を依頼する
- 薬剤部の在庫数を確認する
⇒専用フリーザーにある使用記録簿で確認
(フリーザーは注射調剤室監査台の下にあり)
- 在庫がある場合、製剤室ディープフリーザーに保管してあるため、電話連絡し、在庫数、使用期限を確認する
- 専用フリーザーの電源を入れ、 -40°C に設定する
- 必要数を発注し、卸に納品日を確認する

※卸に在庫がある場合、納品までに3日かかる

※卸に在庫がない場合、メーカーからの取り寄せになるため納品に7日以上かかることもある

- 手術部担当薬剤師へ処方予定であることを伝える

処方箋を受けとった薬剤師



確認する

- 製剤室に在庫がある場合、薬剤を輸液保管庫へ搬送し、保管する
<搬送には専用フリーザーを使用 (-40°C になっていることを確認) >

- ・在庫数で調剤ができる場合→※①へ
- ・在庫不足で調剤ができない場合→
 - 薬品を発注しているか確認する
 - 「薬まち」の札を付け、処方箋、薬袋は調剤台の電話の横に置く

薬を卸から受けた薬剤師



保管・調剤する

- 卸からフリーザーで搬送されるので、ただちに専用フリーザーに保管する
- 使用記録簿に納品数、残数、期限等を記載する
- 使用記録簿に処方数、残数等を記入後、使用期限を確認して、調剤する(※①)
- 別の薬剤師に鑑査を依頼する

手術部担当薬剤師



搬送する

- 専用フリーザーにて、薬剤を搬送する(手術日の朝)
- 手術室スタッフに伝え、フリーザーの電源を確保する

〈手術後〉

- ・残薬がある場合
 - 「処方箋」、「処方・注射オーダ変更通知」を記載する
 - 使用記録簿に返却数、残数、期限を記載する
 - 製剤室ディープフリーザーに残薬を保管し、専用フリーザーを注射調剤室監査台の下に戻す
- ・残薬がない場合
 - 専用フリーザーを注射調剤室監査台の下に戻す

※詳細については、「ギリアデル脳内留置用剤7.7.mgの取り扱い手順」を参照